

理工学部 応用生物科学科

人材育成等に関する目的

応用生物科学科は、生物学の各分野にまたがる領域を統合して体系化することにより、微生物から高等生物にいたる生命現象を様々なレベルで解明できる知識と技術を身に付けた人材を育成する。

カリキュラム・ポリシー(抜粋)

1. 生命の本質を探究する理学とその知見を応用する学際的な分野との連携のもとに、自然・人間・社会に係る幅広い教養を加え、教育・研究を展開し、新たな科学技術を創造するという応用生物科学科の基本理念に基づいて、本学科で定める人材育成等に関する目的を実現するための学士の教育課程を編成する。
2. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実施する。
3. 段階的な知識の修得を図るため、一般的素養を深めるための「一般教養科目」、各専門分野の基盤をなす「基礎科目」、各専門分野に応じた進路に必要な能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。

※下記は平成29年度入学生が対象のため、「必修」「選択必修」「選択」の区分や科目名称が平成28年度以前入学者と一部異なります。詳細は各自の入学年度の学修簿で確認し、それに従って下さい。また一般科目は省略してあります。

